



67

うらわセントラルガーデン

埼玉県浦和市常盤六丁目四一四

浦和市は、埼玉県の東南部に位置する県庁所在地である。本市は、江戸時代に中山道の宿場町として関東の交通経済の要地として発展してきたが、明治以降は、急激な人口増加とともに政治、経済、教育、文化の中心地として発展してきた街である。「文化・観光」氷川女体神社、見沼通船堀、さくら草まつり（四月下旬）、浦和まつり（七月十九日～二十五日）



「うらわセントラルガーデン」は、市庁舎と国道一七号線にはさまれた市の中心部ともいふべき場所に、水と緑と心のふれあいを求める都市空間として整備された。

広場には絵画、書、生け花などの展示施設「市民ギャラリー」、市民が気軽に憩える「談話室」、四季おりりりの花と緑に包まれた「憩いの広場」、「水の流れる段床」を設けた。水の流れる段床は水を止めると客席ともなり、野外ステージとして市民コンサートに使用したり、各種イベントにも利用されている。

地域住民のふれあいの場、やすらぎの場として、そして文化活動の拠点として、貴重な都市空間を多目的に利用できるよう整備したものである。